



小動物対策に忌避剤はいかが？

まだまだ寒い時期が続きますね。屋内は暖かく過ごしやすいため、招かれざる生き物たちが侵入して通り道にしたり、休憩したり、住み着いたりといったことがあるかもしれません。

天井裏でゴトゴト、ドタドタ音がする、鳴き声が聞こえる、なんだか動物臭い、天井に見たことがないようなシミができた…。ひょっとすると動物が屋内に入り込んでしまったのかも。

一度屋内に入り込んでしまった動物を追い出すのは大変です。暗くて見えずらい場所、特に天井裏や床下、壁の隙間などに逃げ込んでしまった動物はなかなか出てきてくれません。そこが気に入ってしまうと、いよいよそこに住み着いてしまいます。

ネズミ以外の鳥獣のほとんどは法律で保護されているため、むやみに捕まえたり殺すことができません。そのた

め、動物の居場所や行動範囲を掴んで対策を打つ必要があります。何とか追い出したり、動物が出かけているうちに入口を徹底的に塞いだりする対策がありますが、どうしても対策が難しいことがあります。こういった場所に補助的に動物が嫌がる対策を行うことも有効です。

2021年11月は超音波発生器をご紹介しましたが、今回は小動物忌避剤「獣ナイン」シリーズをご紹介します。獣ナインは15種類の天然植物エキスを組み合わせた商品で、農薬や化学合成物質などを使用できない有機JASにも対応しています。アライグマ、イタチ、ハクビシ、コウモリ、ネズミ類

15種類の天然植物エキスで組成

- ・よもぎ ・菖蒲葉 ・どくだみ ・緑茶
- ・朝鮮人参 ・唐辛子 ・わさび ・月桃
- ・山椒葉 ・ポウフウ ・熊笹 ・檜地下茎
- ・ダイオウ ・荳茶 ・びわ葉

など様々な小動物に効果があります。動物の巣や通り道にはスプレータイプ、天井裏や床下などの空間にはファンタイプと選択肢もあります。小動物対策は、場面に合わせて閉塞や忌避剤、その他の対策をうまく組み合わせることで効果を出すことが重要です。お困りの方は一度お問い合わせください。



今月の豆知識

梅に鶯、ホントにウグイス？

2月の寒さに映える花といえば梅、その梅とよい取り合わせの例えとして言われる鳥がウグイスです。花が咲く梅の枝にとまる、鮮やかな緑色で描かれる鳥の絵を見たことはないでしょうか。その姿は古くは中国の漢詩、日本では万葉集や古今和歌集などに詠まれ、花札では2月が「梅に鶯（うぐいす）」です。これは春先にウグイスが梅の花の蜜を吸うためにやってくるからだと言われます。

ん？でもちょっと待ってください。ウグイスは緑がかった灰褐色であり目立たず、臆病でなかなか人前には姿を現してくれません。確かに冬は木の実や種子を食べますが、昆虫やクモを好み、花の蜜はあまり求めません。このため、梅にウグイスが止ま

っている姿を目にするのは少ないと言われます。

ではこの鮮やかな緑色の鳥は何者なのでしょう？人に慣れて姿を見せてくれやすく、鮮やかな緑色で花の蜜を好む鳥。これはメジロだったのではないかという説があります。メジロは名前の通り目の周りが白く、ウグイス同様、人が住むところでもよく見られます。

梅の花と緑鮮やかなメジロ。その後ろ姿は見えないけれどウグイスが「ホー…ホケキョ！」。春はもうすぐそこまで。昔の人はこんな景色を見ていたのかもしれないですね。

